

1

加入保障内容の充足感

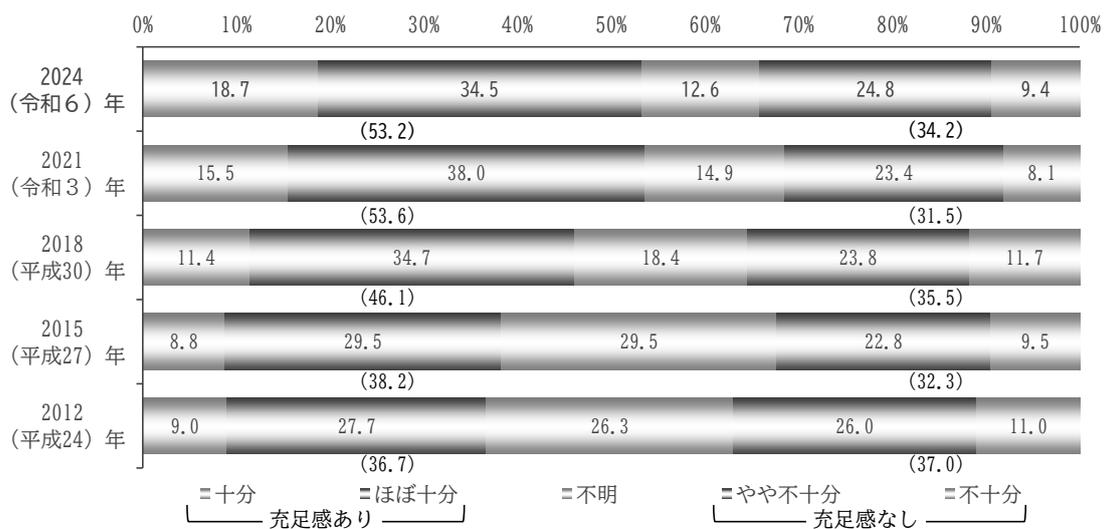
生命保険に加入している世帯に、加入保障内容の充足感、支出可能保険料を尋ねた結果は次のとおりである。

(1) 加入保障内容の充足感

将来の生活設計を考えた場合、現在加入している保障内容で十分かどうかを尋ねたところ、『充足感あり』（「十分」と「ほぼ十分」の合計）が53.2%（前回53.6%）、『充足感なし』（「不十分」と「やや不十分」の合計）が34.2%（前回31.5%）と『充足感あり』が『充足感なし』を上回っている。

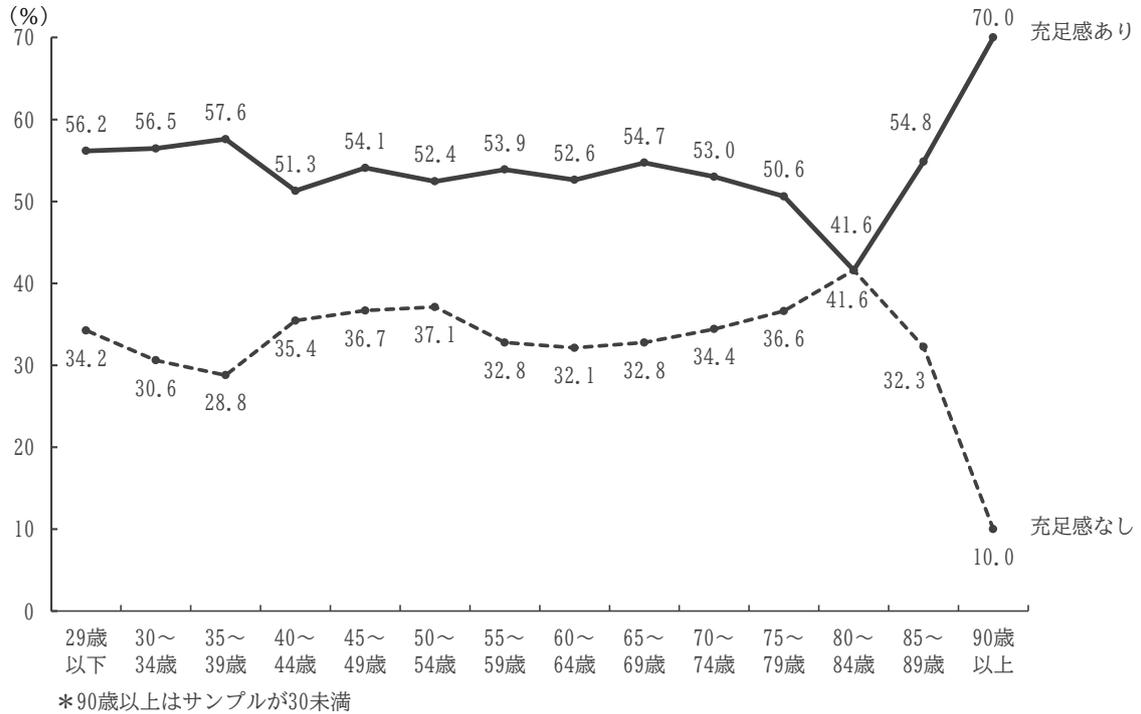
前回と比較すると、『充足感なし』が2.7ポイント増加している。（図表Ⅱ-1）

〈図表Ⅱ-1〉 加入保障内容の充足感



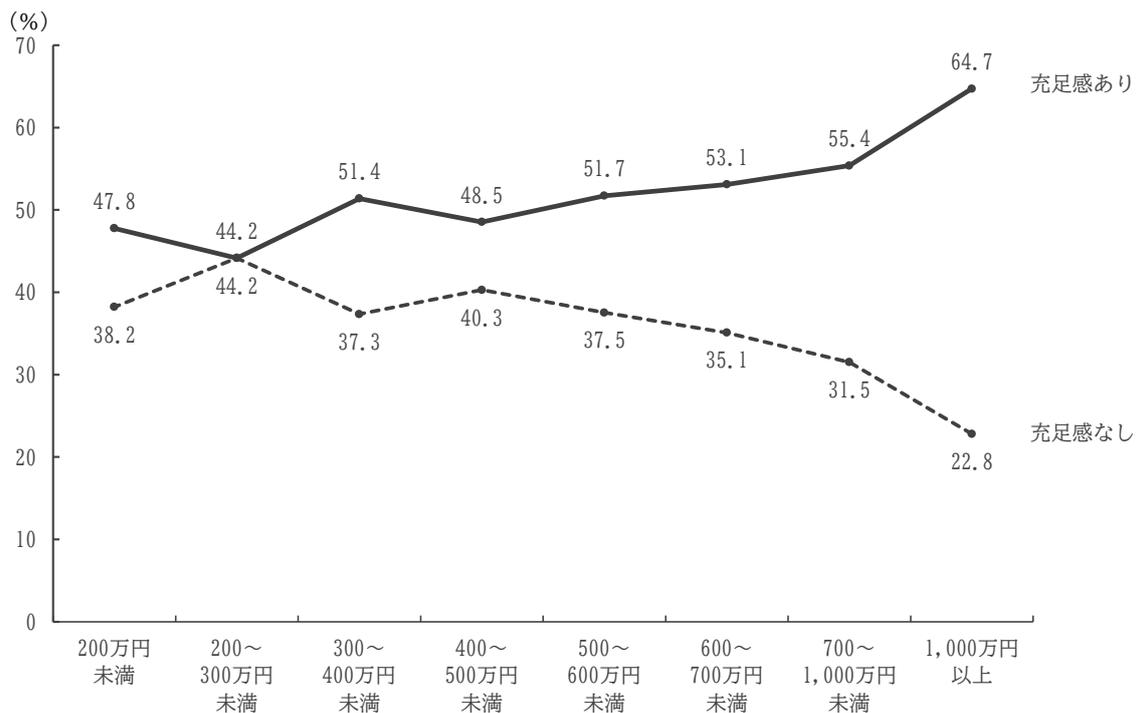
世帯主年齢別にみると、「80～84歳」の以外の層で『充足感あり』が5割を超えている。
 (図表Ⅱ-2)

〈図表Ⅱ-2〉加入保障内容の充足感（世帯主年齢別）



世帯年収別にみると、「300～400万円未満」および「500万円以上」の層で『充足感あり』が5割を超えており、特に「1,000万円以上」の層では、『充足感あり』と『充足感なし』の差が41.9ポイントと大幅に上回っている。(図表Ⅱ-3)

〈図表Ⅱ-3〉加入保障内容の充足感（世帯年収別）

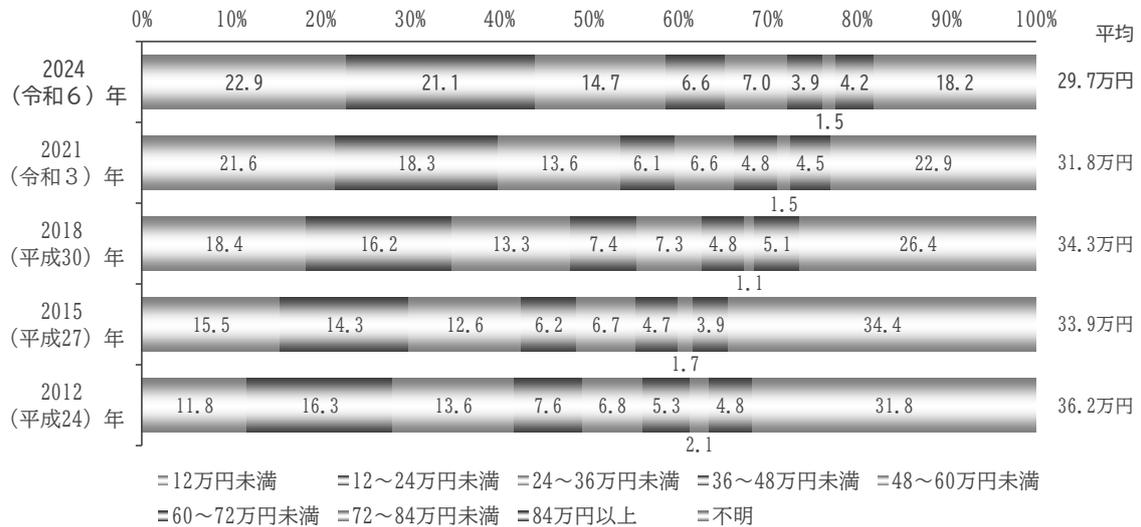


(2) 支出可能保険料

現在支払っている生命保険の保険料を含めて、世帯で1年間に最大いくらぐらいまでの保険料（個人年金保険の保険料を含む）を支出できるかについて尋ねたところ、平均 29.7 万円（前回 31.8 万円）となっている。

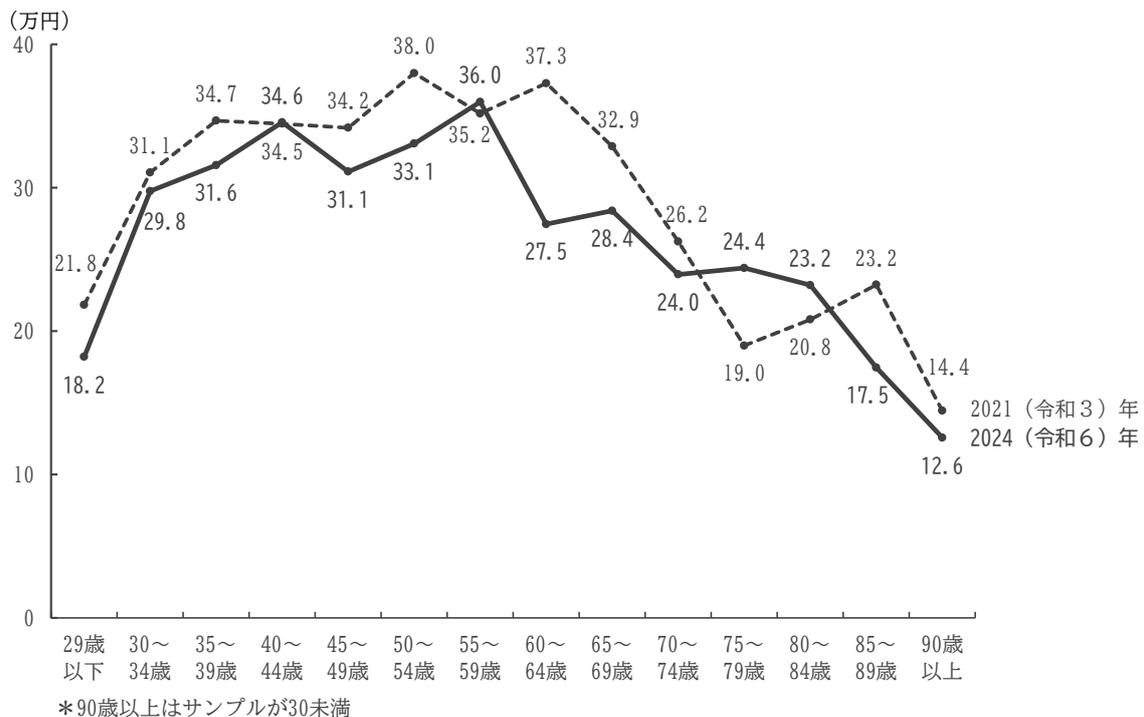
前回と比較すると、平均が 2.1 万円減少している。（図表Ⅱ-4）

〈図表Ⅱ-4〉支出可能保険料



世帯主年齢別にみると、「35～39歳」から「55～59歳」の層で30万円を超えており、「55～59歳」で36.0万円と最も高くなっている。（図表Ⅱ-5）

〈図表Ⅱ-5〉支出可能保険料（世帯主年齢別）



世帯年収別にみると、概ね世帯年収が高くなるほど支出可能保険料も高くなっており、世帯年収「1,000万円以上」では48.0万円となっている。(図表Ⅱ-6)

〈図表Ⅱ-6〉支出可能保険料（世帯年収別）

